

そのわざを通じて
国家社会に奉仕する



技術で社会課題に挑み続けた130年、
その先へ——。

2026年10月、川崎重工グループは創立130周年を迎えました。
創業の精神を受け継ぎ、グローバルな視点で社会課題の解決に向けた
ソリューションを提供していきます。

Kawasaki History

そのわざを通じて国家社会に奉仕する——川崎重工グループの
創業者 川崎正蔵は「技術を通じて国家と社会の発展に貢献したい」
という思いをもとに、1878年、東京・築地に川崎築地造船所を開設
しました。

1896年には、さらに発展して、株式会社川崎造船所を創立。
初代社長に就任した松方幸次郎は、造船業から鉄道車両、航空機
事業、海運業へと多角化を進め、当社をわが国有数の重工業会社に
育て上げました。



創業者 川崎 正蔵



株式会社川崎造船所
初代社長 松方 幸次郎



**海運がわが国の
産業・生活を変える**

1897

川崎造船所第一番船貨客船「伊豫丸」進水。
安定性のある西洋型船を日本で
建造することを旨とし、近代造船業を推進



**新たな輸送手段として
日本の“空”を切り拓く**

1922

当社初の航空機（乙式一型偵察機）を完成させ、
飛行試験を行った。性能が優秀と認められ、
1927年まで300機を製造

1890 1900 1910 1920



**鉄道が陸運の重要な輸送
手段となり近代化を加速**

1911

国産化第1号蒸気機関車を完成させ、
1971年までに計3,237両の
蒸気機関車を製作して、
日本の鉄道の普及、充実に貢献



**関東大震災後の
インフラ復興に貢献**

1926

1923年の震災後、帝都復興事業の一環として、
隅田川に架かる永代橋、清洲橋、白鬚橋を製作。
永代橋は震災からわずか3年後の
1926年に完成

組織・制度などの変遷

1878
川崎築地造船所
設立（創業）

1896
株式会社川崎造船所
創立

1919
8時間労働制
を実施

1919
船舶部を分離して
川崎汽船株式会社を設立

1939
川崎重工業株式会社と
社名変更

Kawasaki History

社会の発展を願った創業者の思いを原点として、川崎重工グループは陸・海・空のモビリティからロボットまで、幅広い領域で最先端の技術に挑み続け、社会の要請に応える製品を世の中に送り出してきました。
2020年からは「グループビジョン2030」の下、「安全安心リモート社会」「近未来モビリティ」「エネルギー・環境ソリューション」を3つの注力フィールドと定め、社会課題解決への挑戦を続けています。



組織・制度などの変遷

1961
事業部制を導入

1950
製鉄部門を分離して川崎製鉄株式会社を設立
(現 JFE スチール株式会社)

1975
米国で二輪車の生産を開始
(日本の二輪車・四輪車業界初)

2001
米国で鉄道車両の一貫製造を開始

2001
社内カンパニー制および執行役員制を導入

2021
車両カンパニーが川崎車両株式会社として設立。
モーターサイクル&エンジンカンパニーがカワサキモータース株式会社として設立

2020
監査等委員会設置会社に移行

川崎重工グループが社会に示すソリューション

安全安心の
新しい価値を創出
安全安心リモート社会



手術支援ロボット
「hinotori™ サージカルロボット
システム」
(株式会社メディカロイド)

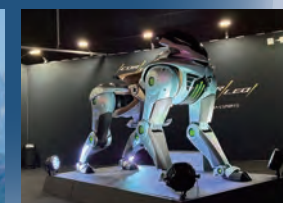


ヘルスケア分野向けソーシャル
ロボット「Home LEO」

人・モノの移動を変革
近未来モビリティ



無人ヘリコプタ「K-RACER」



多脚型ロボットビークル「CORLEO」

クリーンエネルギーの
安定供給

エネルギー・
環境ソリューション



40,000m³ 液化水素運搬船